

## 平成30年度第3回鳴門市公立保育所再編計画策定審議会 会議概要

日時 平成31年2月7日（木） 15時30分～

場所 本庁舎3階 会議室

出席者 委員9名、関係課・事務局職員9名

傍聴者 11名（うち2名報道機関）

概要

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 前回会議の概要について

第2回会議の概要について確認を行いました。

#### (2) 公立保育所再編計画素案について

公立保育所再編計画素案について事務局から説明を行いました。

（委員からの主なご意見等）

##### 【委員】

前回会議後、「もしかしたら公立保育所はなくなる（ゼロになる）のでは」と心配になっていたが、その役割から残ることになって安心した。

##### 【委員】

「保育所を集約」とあるが、民営化もあり得るのか。

##### 【事務局（市）】

鳴門市は保育所の民営化を進めてきた経緯はあるが、今回の再編計画では公立保育所の民営化は予定していない。

##### 【委員】

現状を考えると、「1箇所を集約」という判断はやむを得ないと考える。早急に安全・安心な施設整備を行うことが望ましい。

##### 【委員】

「29年度に19人の待機児童が発生した」とあるが、年齢はどのようなものになっているのか。

##### 【事務局（市）】

途中利用者は育休明け等の方が多く、利用希望児童も低年齢の児童が多くなっている。0歳、1歳児が多かった。

**【委員】**

今回の計画案には入らないとしても、新施設の具体的な設置場所の候補はどこか、ある程度の目処があるのか。

**【委員】**

新施設設置のために新たに用地を取得する予定はあるのか。

**【事務局（市）】**

具体的に「設置場所はここ」という案はまだない。ただ、新たに用地取得をすることはなく、現在の公立保育所の設置場所を含め、市の保有する土地での建設を基本とするほか、利用児童数を考慮し、市中心部での建替を検討したいと考えている。

**【委員】**

みどり保育所は借地であり、そこでの建替はないと理解できるが、新施設を「市中心部に1箇所」としてしまうと市中心部から離れている地域の家庭の利便性が低くなる。「公立を利用したいけど遠いから利用できない」という家庭も出てくると思われる。

**【事務局（市）】**

1箇所に集約することにより、施設が遠くなる利用者もいるとは思われるが、多くの家庭が車での送迎を行っていることから、「遠くて通えなくなる」といった方は、少ないと考えている。

**【委員】**

施設改善は早急に実施すべきだと考えるが、新施設設置の目標「2021年度」は実現が可能なのか。

**【事務局（市）】**

公立保育所は新耐震基準前に建設された建物であり、早急な施設改善が必要であると考えている。2021年度というのは、設計、施工を考えた最短での目標設定になっている。

**【委員】**

休日保育など、私立保育施設が実施しない事業を公立として実施することが求められる。

**【委員】**

現在の就学前教育・保育を取り巻く環境に関する記載について、「今後求められる」ではなく、0歳児からの学びの大切さは今既に意識され、取り組まれている。

るもの。内容、表現の精査を行う方が良い。

**【事務局（市）】**

「現状」と「今後」を整理した上で、表現を修正する。

**【委員】**

乳児保育や延長保育など、鳴門市として現に実施しているが、他市町村等から見て良いと思われる部分をもっと記載しても良いと考える。

**【事務局（市）】**

本市にとっては「当たり前」となっているサービスであっても、他市町村からすれば「進んだサービス」というものもある。その部分については記載を追加したい。

**【委員】**

既に実施している事業と、これから新たに実施する事業とが明確になるように記載した方が良い。特に新たに設置される施設に追加される事業をもっとPRした方が良い。

**【事務局（市）】**

新たな施設の追加機能について明確になるような表現に改める。

**【委員】**

計画案の冒頭「その責任の重大さなどから担い手不足」という記載となっているが、「保育士になりたがらない」、「離職率が高い」理由の実態はどのように把握しているのか。

**【事務局（市）】**

国等が実施した調査では保育士不足は「業務に対する賃金の低さ」による結果があったことから、国をあげて保育士の給与改善に取り組んでいる状況。

**【委員】**

保育所運営に携わるものとして感じているのは、「子どもの命を預かる」という責任の重さから職を離れる傾向にあるというもの。

**【委員】**

新施設を建設する際、現場の職員の意見を聞いて反映させて欲しい。

**【事務局（市）】**

公立保育所の所長会、係長会を月1回の頻度で開催しており、必ず子どもいき

いき課職員が参加し、その都度保育現場の意見を聞いている。今回の素案作成についても現場の意見を聞いており、新施設機能についても保育現場の意見を聞いていきたいと考えている。

#### **【委員】**

すぐに、という訳にはいかないだろうが、やはり子育て家庭の利便性を考慮すると保育所、幼稚園、小学校が一体となって近くにあることが望ましいと考える。

保護者が未就労の家庭の3歳児に対する保育・教育ニーズも多くある。今後の話にはなるが、幼稚園の認定こども園化も視野に入れてはどうか。

教育委員会と福祉（市長部局）との壁もあるかもしれないが前向きに検討して欲しい。

#### **【事務局（市）】**

市として担当部局に関わらず、就学前教育・保育を一体的に考え、今後のあり方を検討する必要があると考えている。次年度以降、市長部局と教育員委員会とが連携して就学前教育・保育全体の質の向上等に取り組むために協議の場を設けたいと考えている。

### **3. その他**

次回開催日程予定について2月28日（木）に開催することを事務局から説明しました。

### **4. 閉会**